



モリオは行動派の現場主義！

直接足を運んで沖縄の現状・問題点を把握、改善につとめ、視察研修を活かし県政に反映させていきます。



美ら島総体2010開会式にて



日中友好60周年記念大会に参加（北京）



高速道路・キク農家救援支援を県へ要請



NAHAMARATHON、沿道にて応援！



うるくカップ少年サッカー大会にて



国民新党沖縄振興委員会にて（東京）

記者のメモ

平成22年12月10日 沖縄タイムス掲載

攻める農業でアジアへ

○…県議会12月定例会の一般質問で、農業再生を訴えた当間盛夫県議（改革の会、那覇市区）。「地産地消も大事だが、アジアを中心に沖縄の攻める農業をやっていないと、補助だけでは守れない」と熱弁をふるった。背景には農林水産物の県外出荷額が2005年の520億円から08年は430億円に下がったデータがあり、「2300人の職員がいる農協ともっとタイアップし、沖縄農業の在り方を構築してほしい」と仲井真弘多知事に提案。農協出身議員ならではのアイデアを披露した。



記者のメモ

平成22年11月8日 沖縄タイムス掲載

モノレールに思い熱く

○…「赤字だから値上げというのは拙速だ。利用者の立場で議論を尽くしたのか」。当間盛夫県議（改革の会、那覇市区）は、沖縄都市モノレール社の料金引き上げ申請に疑問を投げかける。同社に出資する県や那覇市の対応にも「固定資産税の減免なども考えられる立場なのに矛盾している。旧国鉄の債務返済に充てられているたはこ税の活用も提案。モノレールの浦添延伸、本島縦貫鉄軌道などのプランを視野に「那覇だけの問題ではない」と思いは一直線か？



平成23年予算特別委員会にて初の委員長を経験

当たりの激しいプレーも

平成23年4月13日 琉球新報掲載



記者席

○…「活発な議論が展開されたのではないか」と話すのは県議会2月定例会で予算特別委員長を務めた当間盛夫県議（改革）＝写真。初の大役は審議中の震災対応など判断を迫られる場面が続いたが、大過なく務めてほっとした様子。ただ議論の中身については「もっと政策本位で激しく深まりのあるものがあった」。高校時代は県大会準優勝のバスケ選手。冷静なプレーでチームをけん引したと自慢げだが、議論では当たりの激しいプレーを目指すか。

検索窓で「当間モリオ」を検索！



当間モリオ

CLICK

日頃の活動をブログにて公開中！ぜひご覧ください。



当間モリオ
議会活動だより
Vol.9
2011.5.1

まっすぐ真剣に 政治に挑む！

みんなでがんばろう日本！

沖縄県議会議員 当間盛夫

二期目の県議会活動も早いもので3年目を迎えました。日頃からの皆様のご支援に感謝し残された期間も全力で頑張っておりますので尚一層のご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。

また、3月11日に未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」で犠牲になられた皆さんにお悔み申し上げるとともに、未だ避難を余儀なくされている被災地の皆さんには政府が全力で支援をしていくことはもちろんのこと、私たちが出来るだけの応援をすることで被災者の皆さんが一日でも早く笑顔を取り戻すことが出来ますように一緒になって頑張っております。

今回の災害は大地震・大津波・原子力発電事故そして日本全体に風評被害という「複合災害」であります。地震や津波は想定外でも自然の猛威を私たちは受け止めなければなりません、原子力は人間が造ったものであり想定外でも止める事が出来るものであると信じていた、それが後手後手の対応で日本への信頼は地に落ちただけではなく各国からの日本製品に対する輸入規制をする事象であります。解決策や放射能に対する見えない恐怖に日本全体が怯える状況であり、政府は正確な情報を隠すことなく分かりやすく説明することです。世界の英知を借りて一日でも早く安全な状況を作り出す事が復興や新生の一步になります。厳しい状況が続きますが、戦後の苦難を乗り越えて復興を成し遂げた日本だからこそ一歩一歩みんなで力強く進んで行くではありませんか。県では「新たな計画」で①日本とアジア地域の平和と発展に貢献する新生沖縄を創造②自然と文化など価値を高めていく再生沖縄の取組となっています。那覇空港滑走路増設、鉄軌道・新たな公共交通システムの主要事業や子育て支援、物流・交通コスト低減、観光のノービザなどの補助金ではなく制度を獲得しなければなりません。

基地問題でも辺野古建設を断念することからスタートすべきです。既存の施設に分散移転をすることが時間的にも予算的にも検討すべきであり決断すべきです。災害での海兵隊の貢献と過重な基地とは別問題です。それであれば国際災害基地を構築することが世界への平和的貢献ではないでしょうか。

政治不信や混沌とした政局であるからこそ真のリーダーは、多くの声に耳を傾ける大きな耳を持つこと、厳しい状況を皆で共有して一緒になって取組んでいく謙虚な姿勢、私利私欲ではなく県民の為になることを決断できる強い精神力が必要だと思います。大災害、原発事故など国難の厳しい状況ではありますが、新生日本に向けて政治に携わる私たちが皆さんの先頭に立ってがんばって行くことを約束いたします。皆でがんばろう日本！